

— 大阪中之島美術館「没後50年 福田平八郎」—

展覧会限定グッズ・音声ガイド・コラボ情報のご紹介

会期：2024年3月9日（土）～5月6日（月・休）

大阪中之島美術館（大阪市北区中之島4-3-1）

大阪中之島美術館（所在地：大阪市北区/館長：菅谷 富夫）は、近代京都画壇の巨匠・福田平八郎の大回顧展「没後50年 福田平八郎」を、2024年3月9日（土）～5月6日（月・休）の会期で開催いたします。つきましては、展覧会関連の話題として、**展覧会限定グッズ**や、**音声ガイド情報**、**コラボ情報**をお知らせいたします。概要は以下の通りです。

展覧会限定グッズ情報

没後50年の節目に、オリジナルグッズも盛りだくさんでお届けします！ぜひ、ご注目ください。



うすごおり

薄氷（6枚入り）

1,296円（税込）

その味と造形に惹かれた平八郎が、スケッチにも残した富山県石動にある和菓子屋「薄氷本舗 五郎丸屋」の銘菓《薄氷》を展覧会オリジナルパッケージでお届けします。



シャツ（M/Lサイズ）

16,500円（税込）

代表作の《漣》がシャツになりました。本品のために生地から作った特別な1枚です。ほかにも《漣》グッズを数多くご用意しています。



サコッシュ

1,650円（税込）

新発見資料《水》をレイアウトしたサコッシュが登場。《漣》よりもポップな雰囲気ぴったりはまっています。外ポケットも付いて便利なサコッシュです。

こまだわたる

音声ガイドは、声優でありカメラマンとしても活躍する駒田航さん

絶妙なトリミングで写真との関連も指摘される平八郎。人気声優であり、カメラマンとしても活躍する駒田航さんがその魅力を分かりやすく解説します。

▼駒田さんコメント

福田平八郎の絵を初期から晩年まで見て、描き方が一辺倒ではなくて、すぐく変化に富んでいることに驚きました。《緬羊》や《鯉》のような初期の作品が、50代以降の《竹》や《雲》のような全然違う画風が変わっていった、人生を通して見えてくるユニークさがある方だと思います。

こんな風に、スポンジのように色々なものを吸収する力は今の時代の人にも刺さるところがあると思いますし、僕もとても刺激を受けました。

今回は平八郎自身の言葉もたくさん収録しているので、そのお人柄も感じていただけるかなと思います。良い意味で予想を裏切る画風の展開を、音声ガイドと一緒に楽しんでいただけたら嬉しいです。



最果タヒさんとのコラボ詩集&しおりを発売

さいはてたひ

今ももっとも注目を集める詩人・最果タヒさんが、平八郎の作品にあてて詩とエッセイを書き下ろしました。詩集『春、夏、秋、冬、永遠の断面図』と、「しおり」を会場ショップで販売します。装丁や紙質にもこだわって製作しました。現代詩と日本画、響きあう季節への眼差しにご期待ください。

詩集『春・夏・秋・冬・永遠の断面図』 1,700円（税込）

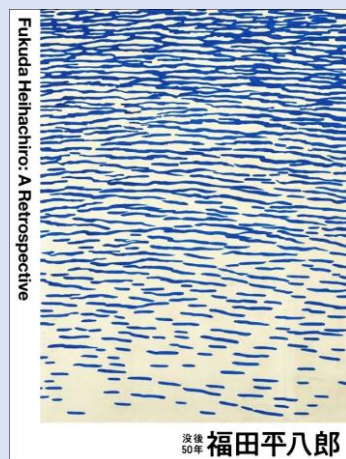
福田平八郎×最果タヒ「しおり（計7種）」180円（税込）

★本展公式図録は、まさに決定版

121点の出品作をグラフィカルにレイアウトし平八郎の魅力をぎゅっと閉じこめました。また、会場では一部しか展示できない写生帖から100カット以上を掲載し、平八郎の創作の原点を探ります。ほかにも画家自身の魅力あふれる語りを26ページにわたって収録した「平八郎のことば」、最新の知見を盛り込んだ論文や作品解説も充実し、没後50年の節目にお届けする充実の図録です。趣向を凝らした装丁にもご注目ください。

仕様：A4変型版、コデックス装、280ページ

価格：2,800円（税込）



《 報道関係者お問い合わせ先 》

「没後50年 福田平八郎」PR事務局（株式会社TMオフィス内）担当：馬場、永井、西坂

TEL：090-6065-0063（馬場）090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：06-6231-4440 E-MAIL：heihachiro50@tm-office.co.jp